

美術史・文化遺産実習2B－Ⅰ

科目ナンバリング FAH-207
選択必修 2単位

岡部 昌幸

1. 授業の概要(ねらい)

日本の古美術品やそれに関係する史資料に直接触れ、そこから様々な情報を読み取る訓練をおこなう。まずは、美術資料の正しい取り扱い方を習得する。その上で、各々の美術資料から必要な情報(材質、技法、箱書きや作品に記されている内容、製作者の情報など)を読み取り、それらを分析して、作品解説する方法を身につける。そのため、簡単なくずし字を読むスキルも必要となる。さらに、作品を文章で描写する、ディスクリプションの方法も学修する。また可能であれば、展覧会見学会を行い、実作品を観察して自ら何かを発見する経験を大切にしたい。春期は、古美術品の基本的な取り扱い、江戸時代の絵本をテキストにして仮名のくずし字を読む訓練、ディスクリプションの実践をおこなう。

2. 授業の到達目標

美術資料から歴史を読み解くことを目標とします。そのために、美術作品の基本的な取り扱いができ、簡単なくずし字が読めるようになること、作品のディスクリプションの経験をもつこと。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(出席態度、授業内の課題)(60%)と試験(40%)によって評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

笠間影印叢刊行会 字典かな 笠間書院

5. 準備学修の内容

授業で学んだくずし字の復習をすること。

6. その他履修上の注意事項

オンライン授業にすることがあります。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス 授業の内容と進め方の説明
- 【第2回】 日本の古美術品の特質(講義)
- 【第3回】 古美術品の観察と材質、取り扱い方法
- 【第4回】 古美術品の取扱い①掛軸
- 【第5回】 古美術品の取扱い②茶道具
- 【第6回】 作品を言葉で描写する ディスクリプション①
- 【第7回】 作品を言葉で描写する ディスクリプション②
- 【第8回】 くずし字の基礎
- 【第9回】 くずし字にふれる
- 【第10回】 江戸の絵本を読む①
- 【第11回】 江戸の絵本を読む②
- 【第12回】 江戸の絵本を読む③
- 【第13回】 江戸の絵本を読む④
- 【第14回】 美術資料の修復について
- 【第15回】 学期末試験